

ファミサポ通信

vol.15

発行：女子医大ファミリーサポート室（委託：NPO法人子育てネットワーク・ピッコロ）
〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学 本部・女性生涯教育支援センター1階
☎03-5369-9075 fax 03-5369-9081

10月1日発行

2015

利用第1号の依頼会員さん 講師に昇進

ファミリーサポートの援助活動が始まった最初の利用で、今日までずっと利用し続けている依頼会員の新井田素子（にいだもとこ）さんが、2人の男の子の子育てをしながら医師として研究を続け、2015年5月より病理学(第一)の講師に昇進しました。



東京女子医科大学
大学ニュース
6月号より

病理学(第一) 講師 新井田素子

このたび、病理学第一講座講師を拝命いたしました。これまで、筋萎縮性側索硬化症におけるグリア細胞の役割を中心に研究に取り組んできました。また、病理解剖や学生実習、病理診断科の業務にも携わってまいりました。

現在、二人の子育て中ですが、職員の皆さん、院内保育所、女子医大ファミリー・サポートをはじめとするたくさんの方々のご支援を得て、仕事に専念することができています。今後は、教育、研究業務に励み、本学の発展に尽力していく所存です。

● 提供会員：加藤隆子さんよりメッセージ ●

私も共働きで大変だったので、少しでも協力できればとファミサポを始めました。お迎えに行くと抱きついて来てくれて子どもたちは本当にかわいい。真っ白な子どもの心に、季節の移ろいや危険なことまで、わかるようにその子に合わせて、楽しくお話しながらお迎えをしてきました。これからもずっと応援させていただきます。

● 提供会員：舟越八重子さんよりメッセージ ●

新井田さんは、どんなに忙しくても、子どもへの気配りに手を抜かない、温かな素敵なお母さん。よくがんばってるなといつも感じます。子どもたちは2人とも本当にかわいくて…楽しい思い出をいっぱい、ありがとうございました！

昇進にあたり、女子医大の大学ニュースに新井田さんの文章が掲載されましたので左記に紹介します。

女子医大ファミリーサポートのマッチングが始まったのが2011年5月。その利用者第一号が女子医大の依頼会員新井田素子さんでした。依頼会員登録は6番目でしたが、登録と同時に、2ヶ月になる下のお子さんの保育を依頼されました。土曜日に上の子を習い事に連れて行くので、その間の自宅での一時預かり保育と、平日の夕方、院内保育所にお迎えに行ってほしいというものでした。

幸いすぐ近くの提供会員さんを紹介でき、2日後に事前打合せをして、翌日から活動が始まりました。その月の活動件数は6件。すべて利用者は新井田さんでした。翌6月、7月も利用者は新井田さんだけでしたが、上のお子さんの保育園の迎えが加わりました。8月からようやく他の会員さんも利用し始め、5年目に入った今では毎月35人ほどの方が利用されて、300件近い利用件数になっています。

新井田さんは今でも、小学生になった上のお子さんの学童の迎え、下のお子さんの保育園の迎えと、定期的に利用されています。

この5年の間には、提供会員さんが体調を崩し、新しい提供会員さんを急遽紹介したことや、毎日のことなので3人の提供会員さんでやりくりしたこともありましたが、事故もなく、お子さんたちもよく懐いてくれて、提供会員さんたちのサポートにはとても感謝しています。

末永くサポートさせていただければ幸いです。



第10期生・提供会員誕生

保育サービス講習会

2015年6/4・9・15・17・19・22・25・29・30



←11科目、オリエンテーション・修了式まで全30時間の講習を終え、輝く笑顔の第10期提供会員の皆さん。楽しく充実した9日間でした。遠方より通って来てくださり、ありがとうございました。



▼子どもとの関係を作る時、どんな言葉がけがいいのかな？



第10期保育サービス講習会(全30時間)を9日間かけて、東京医科大学病院の会議室にて実施しました。受講者は29名、うち13名が修了し、提供会員登録をしてくださりました。

東京医科大学の学生の保護者の方が約半数を占め、埼玉県、千葉県、茨城県など遠くから参加いただき、活気あふれる講習会でした。



▲子どものあそびで作った指人形。折り紙一枚でこんなに個性豊かなおもちゃができる。



▲ひらがな1文字のカードをどんどん組み合わせると言葉を作って続けていくと、すごい！ちゃんと文章になったよ！



▲湯汲英史氏
『心の発達と保育者のかかわり』



▲関根さゆり氏
『障害のある子どもの預かり』



▲長谷川友香氏
『小児看護の基礎知識』



▲加藤郁子氏
『身体の発達と病気』



▲吉田朋子氏
『子どもの栄養と食生活』



▲牛込消防署『普通救命講習』



▲大森靖枝氏『子どものあそび』



▲小俣みどり氏
『保育の心』『事故と安全』
『子どもの暮らしとケア』
『保育サービスを提供するために』



▲グループワークの発表に向け、書く手に熱がこもる。

スキルアップ研修会

2015年9月14日(月)9:30~12:30 講師:小俣みどり
会場:東京医科大学病院第2会議室 (参加提供会員:23名)

今年度最初のスキルアップ研修会では、4グループに分かれて援助活動中にヒヤリハットしたこと、どうしたらいいのか困ったことを出し合い、話し合いました。各々の事例について①どのような対応をしたか、②子ども・親の気持ちはどうか、③今後はどのようにしていこうかなど、360度視点を変えながら検討しました。

すり傷は水道水でよく洗い流すこと、事前打合せとちがう依頼がきた時はコーディネーターに連絡すること、子どもの年齢・個性に合った対応を学ぶこと、想定外の事態への対応などを改めて確認しました。



▲苦労話や、心温まる話が出て、活発なグループワークができ、有意義な研修会だったという感想が多数寄せられました。

●提供会員のふり返しシートより①

私が体験していないことについて、お話を聞くことができ良かったです。これからもファミリーサポートを続けていきたいと思えますので、今日学んだことを参考にして、安全・安心を基本にやっていきたいと思えます。(第4期生)

●提供会員のふり返しシートより②

いつ、どこに居ても、何が起こるかかわからない危機と隣り合わせであることを意識して行動することが大切だと思えました。複数のお子様をお預かりする時の危機管理を、様々な角度から勉強させていただきました。(第8期生)

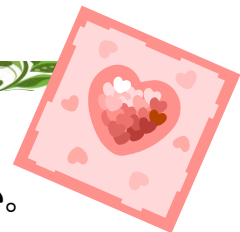
●提供会員のふり返しシートより③

数々の実体験はリアリティーがあり、自分だったらどう対処していたか、深く考えさせられました。情報共有の場は『生きた教科書』だと思いました。事前打合せ、そして事前に公共の室内での遊び場、コンビニ、駅のトイレの場所など、把握しておくことがヒヤリハットを防ぐ、最善の方法だと思えました。広く出た意見は、自分の考え方を見つめ直す、大変よい機会でした。(第10期生)

第11期生【保育サービス講習会】受講生募集中!

お近くに子育て支援に興味のある方はいらっしゃいませんか。ぜひお誘いください。

第11期は東京女子医科大学健保会館が会場となります。11/25のみ牛込消防署が会場です。



日	時間	内容	講師	
2015年 11月9日(月)	13:00~	受付 テキスト代 2,500円		
	13:30~14:20	開校式 オリエンテーション		
	14:30~16:30	保育の心	小俣みどり氏	保育士 NPO 法人子育てネットワーク・ピッコロ理事長
11月11日(水)	9:30~12:30	心の発達と保育者のかかわり	湯汲英史氏	(社)発達協会 早稲田大学非常勤講師 言語聴覚士・精神保健福祉士
	13:30~15:30	障害のある子の預かりについて	関根さゆり氏	新宿区子ども家庭部子ども総合センター
11月17日(火)	10:00~12:00	小児看護の基礎知識	長谷川友香氏	永尾醫院 小児科医
	13:00~16:00	身体の発達と病気	加藤郁子氏	東京女子医科大学 小児科医
11月19日(木)	9:30~12:30	子どものあそび	大森靖枝氏	劇団 風の子
11月25日(水)	13:30~16:30	普通救命講習	救急救命士	牛込消防署・東京防災救急協会
11月27日(金)	10:00~12:30	事故と安全	小俣みどり氏	NPO 法人子育てネットワーク・ピッコロ理事長
	13:30~16:30	子どもの栄養と食生活	吉田朋子氏	管理栄養士 NPO 法人ワーカーズ・コレクティブちるりん村
12月3日(木)	10:00~12:00	子どもの暮らしとケア		
	13:00~15:30	保育サービスを提供するために		
	15:40~16:30	修了式・修了証授与	小俣みどり氏	NPO 法人子育てネットワーク・ピッコロ理事長

27年度スケジュール ぜひお出かけください。お会いできるのを楽しみにしております。

▼対象者

※スケジュール・会場は変更される場合があります。詳細は後日お知らせします。



10月31日(土) 全体交流会 ※女子医大祭のイベントのひとつとして開催します。
 会場：東京女子医科大学佐藤記念館302号室
 依頼会員と提供会員が顔を合わせる機会です。
 活動の様子を紹介します。

お子さんと一緒に参加してください。楽しいですよ♪



11月9日(月) 保育サービス講習会(第11期生) (詳細は2ページ)
 11日(水) 全7日間(30時間)
 17日(火) 会場：東京女子医科大学健保会館(新宿区若松町)・牛込消防署
 19日(木)
 25日(水) ★11月25日(水) 13:30~16:30 普通救命講習を牛込
 27日(金) 消防署で行います。認定期間が切れている提供会員さんは、
 12月3日(木) 再受講できます。お問い合わせください。



28年1月23日(土) 全体研修会【一般公開講座】
 会場：東京女子医科大学総合外来センター5階大会議室



受容と共感の コミュニケーション 良好な関係を形成するために

無料

講師 ● 相原真人氏 (静岡福祉大学社会福祉学部教授)

●あいはらまさと：静岡福祉大学社会福祉学部教授。社会福祉士。専門は児童家庭福祉。埼玉県職員として児童相談所などの現場に18年間勤務した後、専門学校教員を経て現職。静岡市健康福祉審議会委員、同審議会児童処遇審査部会長として、困難事例の審査等にも携わっている。

どなたでも参加
できます。
ご家族・ご友人と
どうぞ。

提供会員

28年2月19日(金) スキルアップ研修会【重要】13:30~16:30

●グループワーク中心の事例検討。実践で役立つ研修会

会場：東京女子医科大学健保会館大会議室(詳細は後日)



【活動状況】 依頼会員は女子医大126名、東京医大66名。6月の活動件数は過去最高の316件でした。利用が多いのは①保育園・幼稚園の迎えと帰宅後の預かり、②習い事の送迎、③保育園・幼稚園の送りの順番になっています。8月は利用がガクンと減りますが、家族そろって夏休みを過ごしているということがわかりホッとします。でも、幼稚園や小学校のお子さんの場合は、長期休暇中の過ごし方で親御さんは四苦八苦されたことでしょう。女子医大ファミサポでは、小学校の高学年のお子さんが、普段行けない所へ提供会員さんとお出かけしたケースがありました。理由を問わない個別対応のファミリーサポートですので、何かちょっと困ったことがある時は、いつでもお問い合わせください。お電話お待ちしています。

会員合計	360名
依頼会員	192名
提供会員	164名
学生サポーター	4名

平成27年9月末日現在

女子医大ファミリーサポート室

162-8666 新宿区河田町8-1 東京女子医科大学 本部・女性生涯教育支援センター1階 (内線 6-8152)

●受付時間 月~金曜日 9:00~17:00 直通 ☎ : 03-5369-9075 fax : 03-5369-9081

family-support.bm@twmu.ac.jp http://www.twmu.ac.jp/w-support/family-support/

160-8402 新宿区新宿6-1-1 東京医科大学 医師・学生・研究者支援センター ☎03-3342-6111(2044・2047)